

令和3年度 下田地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

包括担当エリアは、日吉地区の西部に位置しており、高齢化率も23%を超えております。さらに認知症の方(特に認知症自立度Ⅱ以上の方)の割合も増加傾向にあります。このことから、地域住民に対して、認知症に関する理解や啓発を促進し、地域住民の支え合いを支援する必要があります。(JAGESによる地域診断の結果からも、「うつ」「認知症」「閉じこもり」のリスクが高まることも予想されている。)

また一方で、若い世代の転入出も多く、0~64歳の人口は、数年前より減少傾向となっています。子育て世代については、慣れない土地での生活に不安を感じる親も多いことから、それに伴って、地域の子育て支援活動が活発な地域でもあります。

地理的な面でも、山坂が多く、車両の通行困難な細道が幾筋もあることから、今後高齢化が進むにつれて、外出や買い物等に対するリスクも高まることと予測されることから、日々の生活支援に関する取り組みも必要と考えます。

このような状況を踏まえて、今年度も引き続き、以下の重点的な取り組みとして、まずは、地域ケアプラザの基本的な機能や役割をしっかりと地域住民に理解してもらい、各分野ごとの事業を積極的に優先して行います。

なお、新型コロナウイルスの影響により、在宅生活を長期的に強いられている要介護者の把握も随時行いながら、フレイル予防のための活動を重点的に行う必要性もあると考えます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>地域の身近な相談窓口としての機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙や施設独自のホームページ等を活用。 ・各種事業を通じて、相談窓口をPRする。 ・地域の行事等へ訪問した際にPR。 ・出張相談会の開催方法を工夫し、アウトリーチを強化する。 ・施設機能を記したチラシの配架。(近隣の関係機関など) ・情報ファイルの作成・更新時には会議等で説明に共有に努める。 ・広報紙以外の媒体(SNS)を活用した周知の継続。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>認知症支援の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談や住民からの情報提供を適切にフォローし、医療や見守り、活動の場に繋げる。 ・認知症初期集中支援チームとの連携。 ・出張相談会等を随時行い、気軽に相談できる環境を整える。 ・開業医らと連携しながら支援につなげる。 ・認知症に対する講座を実施し、意識向上に努める。 ・介護者のつどいをもっと活用してもらおうよう関係機関と検討する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>介護予防の取り組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャー向けの介護予防業務の研修の実施。 ・インフォーマル情報冊子の情報を定期的に発信する。 ・本人との信頼関係の構築と日ごろのコミュニケーションにより介護予防への意欲を引き出していく。 ・屋外での体操など活動の場を設け心身機能の維持に努める。 ・毎週木曜日のラジオ体操や椅子に座っての体操教室、健康ウォーキングを開催。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

今年度もコロナ禍による影響で、各種事業の制約がある中でも、ケアプラザとして出来ることを積極的に取り組みました。

《主な取り組みとして》

○地域の身近な相談窓口としての機能強化

- ・コロナ禍の中ではあったが可能な範囲で事業や周知活動などを積極的に行うことができた。
- ・Twitterを使用し、情報発信に務めた。(フォロワーも増加傾向)
- ・緊急事態宣言の最中や解除後、子育て支援会場の再開や親子の居場所の提供を行った。

○認知症支援の強化について

- ・総合相談や住民からの情報提供に対し、早めの対応に努めた。
- ・1人暮らしの認知症の方などは、主治医と連携しながら、日常生活がスムーズに流れるまで、同行受診等のきめ細かな支援を行った。
- ・感染予防を講じながら、つどいの場の継続開催や介護保険サービスへの橋渡しを行うことができた。

○介護予防の取り組みの推進

- ・感染対策を講じつつ、椅子に座っての体操教室や、屋外でのラジオ体操を継続的に行うことができた。
- ・見えてきた課題として、介護保険の利用にはまだ早い人の行く場所が必要であることや、単発の事業だけでは支援不足で、閉じこもり予防にも適した、通いの場所を地域にもうけることも必要と考える。

○地域ケア会議の開催

- ・個別レベル会議と包括レベル会議を地域活動の中心メンバーや関係機関の方々と開催することができた。
- ・包括レベル会議は、日吉本町地区に焦点を絞り開催。「認知症の方でも地域の一員として暮らせるためにできること」をテーマに話し合い、今後の地域活動に活かしてもらうためのきっかけの場となった。

区からのコメント

これまでと同様、個別支援から各種事業、地域住民や支援者等とのネットワーク作り等、地域ケアプラザー丸となって取り組んでいます。

今年度は、感染対策に留意しながらも、医療機関と連携した事業、オンラインを活用した事業や会議、屋外でのラジオ体操等、積極的に取り組んでいただきました。また、新型コロナウイルスの感染状況に合わせながら、安全に継続した活動ができる様に、内容等を工夫して対応していただいています。

これらの取組や活動が次年度以降も広がり、今後も地域のあらゆる世代の相談拠点になることを期待しています。

令和3年度下田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>指定管理者としての公正・中立性や福祉に携わる者として、法人倫理規定その他の方針・指針、毎年実施する「利用者アンケート」等を活用し、人権意識や維持向上に努めます。なお、各種ミーティングや事例検討の場も、自らの姿勢の振り返りの機会として役立てます。</p> <p>また、日々得られる情報についても、施設独自の広報紙やホームページをはじめ、様々な情報発信媒体を利用することや、地域の会合や事業などにも参加して、直接の対話も心掛けながら、情報発信できるように努めます。さらに、施設利用に関しても、貸館や自主事業に誰もが分かりやすく利用参加できるよう、定例会議等を活用して、常に利用者への対応方法等を話し合い、適宜修正改善を重ねながら、利用者本位の施設を目指します。</p>	<p>・施設内における定例の各種会議や事故防止委員会の場で振り返りや対策等を随時検討します。また、日々の職員ミーティングの場でもヒヤリハット他細かな気付きも含めた情報を共有し、意識の高揚と事故防止に努めます。</p> <p>さらに、横浜市より定期的に配信される、市内の事故報告や法人内の4ケアプラザの事故事例やヒヤリハット等も事故防止対策として活用します。</p> <p>・法令及び法人の個人情報規定に基づき、適切に対処すると共に、内部の各種会議等の場を活用して、全職員への研修を行い、注意喚起と意識啓発に努めます。また、定期的にマニュアルの点検も併せて行っていきます。</p>
実績	<p>法人倫理規程その他の方針・指針、「利用者アンケート」等を活用し、内部研修を行いました。また、随時部門会議や事例検討(ケースに関する情報交換を含む)の場を通じて、職員同士、自らの姿勢や取り組みの振り返りの機会としました。</p> <p>また、法人・施設広報紙やホームページ、運営協議会等において、地域の方々に向けた情報公開に努めました。昨年度は、事業報告・計画の区役所ホームページでの公表等、所定の制度に対応しました。特にツイッターを有効活用し、タイムリーな情報発信を心掛けました。</p> <p>なお、新型コロナウイルスの影響による貸館事業の変更内容等に対して、各団体に向けて一律に周知と説明を丁寧に行い、理解と協力を得ながら感染拡大防止に努めました。</p>	<p>・日々、ヒヤリハットも含めて職員間で情報を共有し、月例の部門別会議や事故防止委員会で対策検討等を行いながら事故の再発防止に努めました。</p> <p>・個人情報漏洩防止のため、業務手順・体制を定めながら、日々の業務を実践しています。そして、郵送やFAX送信時の際は、手順等を各職員が確認し合いながら行い、さらに内部の諸会議等の機会を活用して、全職員を対象に研修を実施し、意識啓発に努めました。</p>

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	本人の思いどおりの生活が送れるよう実現可能な目標に向かって、できないことを補うのではなく、本人の行動変容につながるよう環境を整え、生活機能低下の背景を分析・課題を明らかにして、悪循環から好循環に転換できるように支援します。また、地域の特性を活かした仕掛けづくりを考え地域力を高めていきます。	利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者が自立した日常生活を営むことができることを目標として、居宅サービス計画を作成し、サービスを総括的効率的に提供するための連絡調整を行います。
利用料金・実費負担	通常のサービス提供地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費(実費)の支払いをお願いすることがあります。	通常のサービス提供地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費(実費)の支払いをお願いすることがあります。
職員体制	主任介護支援専門員:1人 社会福祉士:1人 看護師:1人 介護支援専門員:2人(非常勤)	介護支援専門員 3人(常勤専従3人)
契約者数	189名	105名

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	利用者が自立した日常生活を営むこと及び利用者の家族の負担を軽減することを目標に、利用者の心身の特性を踏まえ、その能力に応じて、入浴・排泄・食事等の介護等を行うとともに、機能訓練を実施します。また、利用者の家族に対し、必要に応じて、介護方法等について助言します。		
実施体制	【実施日数】 週7日 【提供時間】 9:15~16:20 【定員】 40人	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担	<ul style="list-style-type: none"> ●1割負担分(サービス提供体制加算Ⅱ・中重度者ケア体制加算を含む) (要介護1) 824円/回 (要介護2) 951円 (要介護3) 1,085円 (要介護4) 1,218円 (要介護5) 1,352円 ●認知症加算1割負担分 65円/回 ●入浴加算1割負担分 43円/回 (2・3割負担のご利用者からは2・3倍額いただきます) ●介護職員処遇改善加算 総額の2.3% ●食費負担 750円/食 ●通常に事業実施地域を越えて送迎を行う場合の交通費 越えて1km(道程)まで片道 100円 2kmまで 200円 4kmまで 300円 4km超 400円 ●特別な行事等に係る経費については、事前に説明した上で、希望者にご負担いただきます。 		
職員体制	生活相談員兼介護職員:2人 看護職員:5人 介護職員:14人 運転手:8人		
契約者数等	【延べ利用者数】 7554名 【契約者数】 88名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和3年度「横浜市下田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,610,191		17,610,191	17,420,150	190,041	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	49,400	△ 49,400	ミニデイ喫茶 芋ほり体験 すずらん参加費
雑入	0	0	0	6,693	△ 6,693	
印刷代			0	3,920	△ 3,920	コピー代収入
自動販売機手数料			0	2,648	△ 2,648	
その他			0	125	△ 125	公衆電話使用料
その他	3,733,809		3,733,809	2,222,026	1,511,783	
収入合計	21,344,000	0	21,344,000	19,698,269	1,645,731	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,540,000	0	12,540,000	9,989,888	2,550,112	
本俸	9,300,000		9,300,000	6,815,620	2,484,380	職員本俸 非常勤職員給与
社会保険料	1,090,000		1,090,000	969,054	120,946	社会保険料
手当計	1,900,000		1,900,000	1,913,112	△ 13,112	調整 超過勤務 期末 通勤手当
健康診断費	50,000		50,000	39,281	10,719	職員健康診断費 インフルエンザ予防接種補助
勤労者福祉共済掛金			0	5,250	△ 5,250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	200,000		200,000	86,258	113,742	横浜市社会福祉協議会 退職共済掛金
その他			0	161,313	△ 161,313	医療福祉機構退職共済掛金
事務費	600,000	0	600,000	1,399,675	△ 799,675	
旅費	20,000		20,000	280	19,720	職員 出張交通費
消耗品費	100,000		100,000	104,161	△ 4,161	コピー用紙 トイレトペーパー ファイル他
会議開費			0	5,646	△ 5,646	運営協議会お茶代 出欠確認通信費他
印刷製本費			0		0	
通信費	100,000		100,000	181,664	△ 81,664	携帯電話 固定電話 利用料 切手代
使用料及び賃借料	50,000	0	50,000	137,818	△ 87,818	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	21,120		21,120	10,560	10,560	自動販売機目的外使用料
その他	28,880		28,880	127,258	△ 98,378	レンタルモップ AED 会計ソフトレンタル
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	47,431	2,569	総合賠償 施設賠償責任保険
職員等研修費	10,000		10,000	7,067	2,933	WEB研修等参加費
振込手数料	10,000		10,000	15,809	△ 5,809	給与 業者振込手数料
リース料	200,000		200,000	449,928	△ 249,928	PC 固定電話 節水装置リース
手数料			0	3,990	△ 3,990	残高証明書発行手数料
地域協力費	3,600		3,600	3,600	0	自治会費
その他	56,400		56,400	442,281	△ 385,881	社労士等顧問料 燃料費 社協年会費 消毒薬他
事業費	480,000	0	480,000	206,692	273,308	
運営協議会経費	42,000		42,000		42,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	438,000		438,000	206,692	231,308	すずらん マロニエ 園ボラ 芋ほり体験 広報誌
その他			0		0	
管理費	6,300,000	0	6,300,000	6,885,573	△ 585,573	
光熱水費	4,000,000		4,000,000	3,900,260	99,740	電気 ガス 水道料金
清掃費	1,500,000		1,500,000	1,843,116	△ 343,116	定期 日常清掃 排水管 グリストラップ清掃他
機械警備費	120,000		120,000	122,634	△ 2,634	機械警備費
設備保全費	580,000	0	580,000	710,584	△ 130,584	
空調衛生設備保守	300,000		300,000	312,426	△ 12,426	空調保守点検 冷暖房切替 清掃 水質検査費用
消防設備保守	50,000		50,000	48,664	1,336	消防設備保守点検
電気設備保守	80,000		80,000	74,053	5,947	電気設備月次 及び 年次点検
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000	30,659	△ 659	殺虫消毒
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	120,000		120,000	244,782	△ 124,782	自動ドア 昇降機保守点検 施設設備巡視点検
共益費			0		0	
その他	100,000		100,000	308,979	△ 208,979	植栽剪定 ごみゼロルート回収 機密文書処理
修繕費	474,000		474,000	184,541	289,459	予算：指定額
公租公課	950,000	0	950,000	1,031,900	△ 81,900	
事業所税			0		0	
消費税	950,000		950,000	1,031,900	△ 81,900	消費税
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	21,344,000	0	21,344,000	19,698,269	1,645,731	
差引		0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	49,400	△ 49,400	
自主事業費 支出	438,000	0	438,000	206,692	231,308	
自主事業 収支	△ 438,000	0	△ 438,000	△ 157,292	△ 280,708	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	2,648	△ 2,648	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,120	0	21,120	10,560	10,560	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 21,120	0	△ 21,120	△ 7,912	△ 13,208	

*※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

**令和3年度「横浜市下田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞**

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	24,291,000		24,291,000	23,689,051	601,949	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	36,400	△ 36,400	スクエアステップ 下田畑プロジェクト参加費
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	3,000	△ 3,000	セカンドライフ参加費
雑入	0	0	0	6,568	△ 6,568	
印刷代			0	3,920	△ 3,920	コピー代
自動販売機手数料			0	2,648	△ 2,648	
その他			0	0	0	
その他			0	125	△ 125	
収入合計	30,247,000	0	30,247,000	29,691,144	555,856	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,762,000	0	25,762,000	24,956,256	805,744	
本俸	14,700,000		14,700,000	12,463,500	2,236,500	職員本俸
社会保険料	3,900,000		3,900,000	3,312,155	587,845	社会保険料
手当計	6,400,000		6,400,000	8,457,655	△ 2,057,655	調整 超過勤務 期末 通勤手当
健康診断費	112,000		112,000	32,677	79,323	健康診断費 インフルエンザ予防接種補助
勤労者福祉共済掛金	650,000		650,000	14,250	635,750	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額			0	392,332	△ 392,332	横浜市社会福祉協議会 退職共済掛金
その他			0	283,687	△ 283,687	医療福祉機構退職共済掛金
事務費	1,420,000	0	1,420,000	1,071,743	348,257	
旅費	45,000		45,000	62,320	△ 17,320	職員 出張交通費
消耗品費	300,000		300,000	75,948	224,052	コピー用紙 ファイル他
会議随費			0	5,646	△ 5,646	運営協議会お茶代 出欠確認通信費他
印刷製本費			0	0	0	
通信費	490,000		490,000	201,969	288,031	携帯電話 固定電話利用料 切手代
使用料及び賃借料	0	0	0	35,013	△ 35,013	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	10,560	△ 10,560	自動販売機目的外使用料
その他			0	24,453	△ 24,453	家計ソフトレンタル他
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	47,431	2,569	総合賠償 施設賠償責任保険
職員等研修費	50,000		50,000	8,007	41,993	WEB研修等参加費
振込手数料	15,000		15,000	9,348	5,652	給与 業者 振込手数料
リース料	400,000		400,000	409,888	△ 9,888	PC 固定電話リース料
手数料			0	440	△ 440	残高聴明手数料
地域協力費			0	0	0	
その他	70,000		70,000	215,733	△ 145,733	社労士等顧問料 燃料費 社協年会費
事業費	1,119,000	0	1,119,000	353,933	765,067	
協力医	630,000		630,000	105,000	525,000	予算:指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	255,000		255,000	17,119	237,881	遺言セミナー 介護者の集い
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	174,435	△ 20,435	スクエアステップ ロコモ予防 歌の広場他
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	80,000		80,000	57,379	22,621	予算:指定額 セカンドライフ
その他			0	0	0	
管理費	1,820,000	0	1,820,000	1,830,327	△ 10,327	
光熱水費	1,000,000		1,000,000	1,036,777	△ 36,777	電気 ガス 水道料金
清掃費	550,000		550,000	489,940	60,060	定期 日常清掃 排水管 グリストラップ清掃他
機械警備費	30,000		30,000	32,598	△ 2,598	機械警備費
設備保全費	180,000	0	180,000	188,880	△ 8,880	
空調衛生設備保守	90,000		90,000	83,046	6,954	空調保守点検 冷暖房切替 清掃 水質検査費用
消防設備保守	10,000		10,000	12,936	△ 2,936	消防設備保守点検
電気設備保守	20,000		20,000	19,683	317	電気設備月次 及び 年次点検
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000	8,149	1,851	殺虫消毒
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	50,000		50,000	65,066	△ 15,066	自動ドア 昇降機保守点検 施設設備巡視点検
共益費			0	0	0	
その他	60,000		60,000	82,132	△ 22,132	植栽剪定 ごみゼロルート回収 機密文書処理
修繕費	126,000		126,000	49,051	76,949	予算:指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	30,247,000	0	30,247,000	28,261,310	1,985,690	
差引	0	0	0	1,429,834	#####	

自主事業費 収入	0	0	0	39,400	△ 39,400	
自主事業費 支出	489,000	0	489,000	248,933	240,067	
自主事業 収支	△ 489,000	0	△ 489,000	△ 209,533	△ 279,467	

管理許可 目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	2,648	△ 2,648	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可 目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	10,560	△ 10,560	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可 目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	△ 7,912	7,912	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 下田地域ケアプラザ

令和3年4月1日～令和4年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護			
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	
収入	介護保険収入	7,500	5,980	1,520	7,500	5,068	2,432	17,000	16,565	435	69,200	65,381	3,819	2,800	2,085	715	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	4	-4	18,800	15,463	3,337	1,300	602	698	
	利用者負担金			0			0			0	16,900	8,294	8,606	1,300	286	1,014	
	利用者食事代			0			0			0		5,264	-5,264		316	-316	
	認定調査			0			0		4	-4			0			0	
	雑収入			0			0			0		9	-9			0	
	利用者等外給食収益			0			0			0	1,900	1,845	55			0	
	その他			0			0			0		51	-51			0	
	収入合計(A)		7,500	5,980	1,520	7,500	5,068	2,432	17,000	16,569	431	88,000	80,844	7,156	4,100	2,687	1,413
	支出	人件費	5,238	5,292	-54			0	15,230	15,529	-299	61,180	64,246	-3,066			0
事務費		215	370	-155			0	825	1,146	-321	5,557	5,269	288			0	
事業費				0			0	73	80	-7	7,933	7,940	-7			0	
管理費				0			0	140	186	-46	14,840	11,385	3,455			0	
その他		3,000	2,600	400	3,000	1,075	1,925	0	0	0	3,734	5,024	-1,290	0	0	0	
利用者等外給食費				0			0			0		2,379	-2,379			0	
消費税				0			0			0			0			0	
介護予防プラン委託料		3,000	2,600	400	3,000	1,075	1,925			0			0			0	
減価償却費				0			0			0		423	-423			0	
施設使用料負担額				0			0			0	3,734	2,222	1,512			0	
その他			0			0			0			0			0		
支出合計(B)		8,453	8,262	191	3,000	1,075	1,925	16,268	16,941	-673	93,244	93,864	-620	0	0	0	
収支 (A)-(B)		-953	-2,282	1,329	4,500	3,993	507	732	-372	1,104	-5,244	-13,020	7,776	4,100	2,687	1,413	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和3年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他</p>
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	公園でラジオ体操	令和2年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	新型コロナウイルスによる自粛期間が長期化したことによる筋力の低下を防ぐほか地域の住民の情報交換の場として下田4丁目公園・日吉本町駅前の2会場にて実施	5:地域		ラジオ体操の実施	76	1300
2	子育てサロンすてっぷ	平成15年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て経験の浅い親とその子供たちを主な対象として子供たちを遊ばせながら情報交換の場を提供するとともに子育ての知識を獲得する機会の場を提供する	3:養育者及び乳幼児		子育てサロン(情報交換の集い)	24	285
3	日吉第二ハイム	平成28年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	日吉第二ハイムに入居している住民の方を対象とした交流サロン。職員が出張し介護予防や制度の情報交換をおこなう。日吉第二ハイム管理組合主催。	5:地域		茶話会、ケアプラザ職員による講話(新型コロナの影響により休止)	0	0
4	喫茶マロニエ亭	平成13年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	地域の自立高齢者を主な対象に社会性を保つための外出先の確保と身近な健康チェックを提供する	1:高齢者		自立高齢者向けミニデイサービス	15	137
5	おはなしもた	平成27年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	心の病を抱え外出先や悩みの掃き出し先を求めながら生活支援センターまでは通えない当事者や家族が集うサロン	2:障害児・者		精神サロン	6	20
6	認知症キャラバンメイト「おしゃべり九官鳥」	平成30年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	認知症キャラバンメイトと共にサポーター養成講座を開催し地域住民へ認知症に対する理解を深めると共にサポーターとして支える側になってもらうよう、講座を企画、運営する	5:地域		認知症サポーター養成講座の企画・運営	3	23
7	下田剪定塾	平成31年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	剪定の知識を伝授し、自宅等の庭木の手入れに関心を深める。剪定の実践の場としてケアプラザの樹木を活用し将来的には剪定のボランティアの発足を目指す	5:地域		剪定(新型コロナの影響により中止)	0	0
8	下田おさんぽ会	令和2年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	新型コロナウイルスによる自粛期間が長期化したことによる筋力の低下を防ぐほか地域の住民の情報交換の場として屋外で企画。昨年度の「しもだ健康ウォーキング」よりもハードルを下げ、気軽に参加ができるようにする	1:高齢者		ウォーキング(散策)	1	8
9	イスに座って健康体操	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	新型コロナウイルスによる自粛期間が長期化したことによる筋力の低下を防ぐ目的でイスに座ってでもできる体操を紹介する	1:高齢者		体操	3	43
10	お食事処すずらん	平成15年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域の独居高齢者を主な対象に社会性を保つための外出先の確保とバランスの良い食事を提供する。	1:高齢者		独居高齢者食事会	4	34
11	下田メモリーカフェ	平成29年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症のある方の通いの場、家族同士の情報交換、相談の場。支援をする方を含めた地域住民に認知症理解の浸透の場を提供	1:高齢者		ボランティア下田、地域のボランティアと共に開く認知症カフェ	8	98
12	男の料理教室	平成31年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	下田町で活動されていた「えんがわの家よってこ下田」の閉鎖に伴い事業の継続をサポートするとともに定年後の男性を主な対象として自立して料理ができるよう講座を企画する	5:地域		ダシの取り方や魚のさばき方などシェフによる講座(新型コロナの影響により休止)	0	0
13	冬休み書初め練習教室	平成21年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域ケアプラザが高齢者だけの施設ではないことを周知するとともに学校の長期休暇を利用し児童生徒が参加できる交流の場を提供	4:子ども・青少年		冬休みの宿題である「書初め」の練習	1	10
14	下田式事例検討会	平成30年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	平素より関わりのあるケアマネージャー同士のスキルアップや情報交換等を目的とした事例検討会を実施。	6:事業者		参加者に事例を提供してもらい、その事例を基に「パーソン・センタード・アプローチ」という手法で事例検討会を実施。8月を除く偶数月の第4週木曜日に実施	4	39
15	ひよしもケアマネ倶楽部	令和元年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	日吉地区の居宅介護支援事業所と協働でスキルアップのための勉強会を実施	6:事業者		参加の居宅介護支援事業所と年間テーマを決め勉強会を実施。	1	15
16	しもだ畑プロジェクト	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	新型コロナウイルスによる自粛期間が長期化したことによる筋力の低下を防ぐほか地域の住民の情報交換の場として下田町のシェア畑を利用し畑作業をおこなう	5:地域		畑作業	60	311

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
17	親子de芋ほり体験会	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の親子同士の交流を目的に新田地区の畑にて芋ほりを実施	4:子ども・青少年		芋ほり(ジャガイモとサツマイモ)を計画	2	68
18	ケアプラザまつり「ケアプラザへ行こう2021」	平成14年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	地域住民の交流の場として、ケアプラザを周知すると共に貸館利用団体及びデイサービス利用者の作品展示を行う。	5:地域		貸館利用者・デイサービス利用者の作品展示・日吉を中心に活動されている人形劇の講演など。新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ開催を判断(新型コロナの影響により中止)	0	0
19	心の健康講座	平成26年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	港北区生活支援センターと共に、主に精神疾患についての特性や対応方法などを地域住民向けに企画する。令和3年度は区内の同法人4館が「心のバリアフリープロジェクト」として企画し、下田ケアプラザとして心の健康講座とする	5:地域		オンラインと対面型のハイブリッド開催。双極性障害の当事者による畑作業を通しての回復体験と港北区生活支援センターによる精神疾患についての講義	1	23
20	これですっきり！健康いきいき講座	令和3年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	山本記念病院の理学療法士の沓澤氏をはじめ病院スタッフの方による体操・講義	1:高齢者		山本記念病院職員による体操・講義	3	53
21	クリスマスリースづくり教室	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	未就園児とその保護者を対象に外出先を提供	4:子ども・青少年		クリスマスリース作りと「読み聞かせ」	1	19